

武藏野北 高等学校 令和7年度（1学年用）教科

教科：芸術 科目：音楽 I

対象学年組：第 1学年 1組～ 6組

使用教科書：（MOUSA 1 教育芸術社）

芸術

科目 音楽 I

単位数： 2 単位

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】 各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

科目 音楽 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聞くことができるようになる。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配当時数	
		歌	器	創						
1 学 期	齊唱・合唱 【知識及び技能】 曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりを理解する。表現を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 自己のイメージもって、創意工夫して歌う。	オリエンテーション 科目の説明 ・教材 ・学習方法 ・発声 曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方 表現に必要な技能の習得。 ・曲想と音楽の構造や歌詞との関わり。・聴き合い 教材 校歌 翼をください	○		○	【知識及び技能】 ・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現のため、発声言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 実技試験 筆記試験 ワークシート記述	○	○	○	18
	ボディーパーカッション・楽典 【知識及び技能】 曲想と音色やリズムとの関わりについて正確に楽譜を読み取る。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、テクスチュアを知覚し、どのように演奏するかについて表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 音色の工夫やリズムパターンの変化と曲想との関わりに関心をもつ。	・譜読み ・楽典の基礎的事項の復習 ・個人練習（全パート） ・全体練習（全パート） ・パートに分かれてのアンサンブル 教材 クラッピング カルテット No.1	○	○		【知識及び技能】 ・曲想と手拍子や足踏みの音色や奏法との関わりについて理解している。楽譜を正確に読み取り、リズムを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音色、リズム、速度、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 音色の工夫やリズムパターンの変化と曲想との関わりに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。 実技試験 筆記試験 ワークシート記述	○	○	○	8
	西洋音楽史をたどる 【知識及び技能】 様々な時代の音楽や作曲者の特徴と、その文化的・歴史的背景との関連を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽表現の共通性や固有性について考える。音楽のよさや美しさを自ら味わって聴く。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な時代の文化的・歴史的背景との関連に関心をもち、鑑賞に主体的に取り組む。 混声四部合唱曲に親しむ	・西洋音楽の流れ 中世の音楽 教会音楽 グレゴリオ聖歌 多声音樂 ・西洋音楽史 作曲家年表と主な作品 ・教材 教科書			○	【知識及び技能】 西洋音楽の流れを文化的・歴史的背景との関連を知りつつ学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 【学びに向かう力、人間性等】 文化的・歴史的な背景を踏まえて音楽の多様性を理解し、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。 ワークシート記述	○	○	○	4

2 学 期	混声四部合唱 【知識及び技能】 曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想を歌詞の内容にかかわらせて、音楽表現を工夫し、どのように声を合わせるか表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 声を合わせる活動に関心をもち、それらの演奏効果を生かして歌うことには主的に取り組もうとしている。	・発声 身体の使い方 ・歌詞の内容 ・気を付けたい発音 鼻濁音 ・歌詞に込められた思い ・各パートごとの正確な読譜 ・曲想 ・曲中の自分のパートの役割の変化 ・音色、リズム、強弱、形式、構成 ・アカペラ曲の特徴 学生歌 はるかな友に	○	【知識及び技能】 ・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現のため、发声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、どのように声を合わせるかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 声を合わせる活動に関心をもち、主体的・協働的に合唱の学習活動に取り組もうとしている。 実技試験 筆記試験 ワークシート記述	○ ○ ○ 14
	楽器を弾こう 【知識及び技能】 鍵盤楽器・弦楽器に興味をもち、基礎的奏法の技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 音色やリズム、旋律、和音の関係、音階の学習をし、自ら鍵盤楽器で弾いて表現の工夫をする。 【学びに向かう力、人間性等】 鍵盤楽器の演奏に関心をもち、主体的に器楽の活動に取り組む。	・楽典の初歩 音階と和音（コード表）を鍵盤楽器を併用して学習する。 ・楽譜の読み方 ・楽器奏法の基礎技能の習得 ・演奏姿勢 肩 腕 手首 指 指先 構え方等 楽器にふさわしい 基本奏法を身につける	○	【知識及び技能】 ・音階（音の並び）を理解している。 ・楽器の特徴を生かして演奏する。 基本技能が身についている。 【思考力、判断力、表現力等】 音色やリズム、旋律、和音の関係を知覚し、工夫して表現しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 鍵盤楽器の演奏に関心をもち、主体的に意欲をもって器楽の活動に取り組もうとしている。 実技試験 筆記試験 ワークシート記述	○ ○ ○ 10
3 学 期	西洋音楽史をたどる 【知識及び技能】 様々な時代の音楽や作曲者の特徴と、その文化的・歴史的背景との関連を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽表現の共通性や固有性について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な時代の文化的・歴史的背景との関連に関心をもち、鑑賞に主体的に取り組む。	・西洋音楽の流れ ルネサンスの音楽 バロックの音楽 J. S. Bach ・西洋音楽史 作曲家年表と主な作品 ・教材 教科書	○	【知識及び技能】 西洋音楽の流れを文化的・歴史的背景との関連を知りつつ学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 【学びに向かう力、人間性等】 文化的・歴史的な背景を踏まえて音楽の多様性を理解し、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。 ワーク シート記述	○ ○ ○ 4
	混声四部合唱 【知識及び技能】 曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想を歌詞の内容にかかわらせて、音楽表現を工夫し、どのように声を合わせるか表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 声を合わせる活動に関心をもち、それらの演奏効果を生かして歌うことには主的に取り組もうとしている。	・発声 身体の使い方 ・歌詞の内容 ・気を付けたい発音 鼻濁音 ・歌詞に込められた思い ・各パートごとの正確な読譜 ・曲想 ・曲中の自分のパートの役割の変化 ・音色、リズム、強弱、形式、構成 ・アカペラ曲の特徴 様々な合唱曲に取り組む	○	【知識及び技能】 ・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現のため、发声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、どのように声を合わせるかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 声を合わせる活動に関心をもち、主体的・協働的に合唱の学習活動に取り組もうとしている。 実技試験 筆記試験 ワークシート記述	○ ○ ○ 6
3 学 期	楽器を弾こう 【知識及び技能】 弦楽器（ギター）に興味をもち、ギターの基礎的奏法の技能を身につける。 思考力、判断力、表現力等】音色やリズム、旋律、和音の関係、音階の学習をし、自ら鍵盤楽器で弾いて表現の工夫をする。 【学びに向かう力、人間性等】 鍵盤楽器の演奏に関心をもち、主体的に器楽の活動に取り組む。	・楽典の初歩 音階と和音（コード表）を楽器を併用して学習する。 楽譜の読み方 ・鍵盤楽器奏法の基礎技能の習得 ・演奏姿勢 肩 腕 手首 指 ・アンサンブルを楽しむ	○	【知識及び技能】 ・音階（音の並び）を理解している。 ・ギターの特徴を生かして演奏する基本技能が身についている。 【思考力、判断力、表現力等】 音色やリズム、旋律、和音の関係を知覚し表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 鍵盤楽器の演奏に関心をもち、基礎的奏法練習を反復し、器楽の活動に取り組もうとしている。 実技試験 筆記試験 ワークシート記述	○ ○ ○ 4
	作曲家の生涯と作品をたどる 【知識及び技能】 様々な時代の音楽や作曲者の特徴と、その文化的・歴史的背景との関連を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽表現の共通性や固有性について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な時代の文化的・歴史的背景との関連に関心をもち、鑑賞に主体的に取り組む。	・西洋音楽の流れ バロック・古典派の音楽 ・西洋音楽史 作曲家年表と主な作品 ・教材 教科書 Music Note 「クローズ・アップ・マエストロ」 J.S. バッハ/W.A. モーツアルト	○	【知識及び技能】 西洋音楽の流れを文化的・歴史的背景との関連を知りつつ学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 【学びに向かう力、人間性等】 文化的・歴史的な背景を踏まえて音楽の多様性を理解し、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。 ワークシート記述	○ ○ ○ 2